

100億宣言



臨海町配送センター（江戸川区）

- 本社所在地：東京都大田区
- 事業概要：Eコマース運営・法人向け卸売・システム開発
- 常時使用する従業員：24名
（2026年9月時点）
- 現在の売上高：44億円
（2025年12月期）
- 法人番号：7011001061049
- Web：https://www.it7.co.jp/

株式会社アイ・アンド・ティー（小売業）

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
高橋 英太

お客様をワクワクさせるサービスを創造する。

社名のI&TはIntelligence（知性）とToughness（タフさ）に由来します。2002年の創業以来、当社は仮説・実行・検証を繰り返し、自ら変わることを躊躇せず挑戦を続けてきました。ITと流通を掛け合わせた強みを活かし、2031年に売上高100億円を達成します。物流の自動化と倉庫拡張による品揃えの拡大によって、お客様により安く・より早くお届けするとともに、地域の雇用と取引先の成長に貢献します。生産性向上の成果は給与水準の引き上げと人材育成に還元し、社員とともに成長し続ける企業を実現します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2031年に売上高100億円を達成する。
売上高は2023年12月期32.7億円、2024年12月期39.0億円、
2025年12月期44.3億円と直近2年で年平均16.4%成長。
この成長力を維持し、2026年50億円、2028年66億円、2030年
87億円を経て2031年に100億円を達成する。
100億円は通過点とし、2035年に136億円を目指す。

課題

- ①出荷能力：配送センターは手作業が中心で、繁忙期の出荷処理能力が売上成長の上限となっている。
- ②収益性：価格訴求型のため売上高営業利益率は1.2%（2025年12月期）にとどまり、成長投資の原資が不足している。
- ③保管能力：倉庫スペースの制約で在庫を積み増せず、まとめ仕入れができないため粗利率が低下している。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ①大型物流センターを新設し、自動倉庫・省力化設備を導入して保管能力と出荷処理能力を抜本的に拡張する。
- ②取扱アイテムを300万点から更に拡大し、法人向け卸売と請求書決済サービスを強化して法人顧客基盤を広げる。
- ③AIを活用した需要予測・在庫最適化・価格最適化により、在庫回転率と粗利率を改善する。
- ④受託開発で培った技術力を活かして基幹システムを内製・高度化し、成長に伴う業務量の増加を人員増に頼らず吸収する。

実施体制

代表取締役を責任者とする成長投資プロジェクトを設置し、Eコマース事業部・物流部門・システム開発部門の横断体制で推進する。物流自動化は設備ベンダーおよび設計事務所と連携し、資金調達は取引金融機関と協調して進める。生産性向上の成果は給与水準の引き上げと人材育成に還元する。

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです